

b. あけぼのプロジェクトチーム

II-4-b-1

「あけぼの」衛星の運用（国内局における衛星運用・追跡管制，及びデータ取得）

教授	向井利典	助手	松岡彩子	教授	前澤 洸
助教授	早川 基	助教授	齋藤義文	助教授	篠原 育
助教授	笠羽康正	助教授	阿部琢美	助手	吉川一朗
				助手	浅村和史

「あけぼの（EXOS-D）」は、平成元年の打ち上げ以来15年以上にわたり、順調に科学観測を続けている。電磁場・波動・プラズマ・放射線帯粒子などのデータを取得する9種の観測機器を搭載し、オーロラ現象等に関連する地球電離圏・磁気圏の観測および放射線帯の観測を行っている。放射線等により劣化したオーロラ撮像カメラおよびDC電場測定プローブ以外は正常にデータを取得している。

「あけぼの」衛星は内之浦宇宙空間観測所にて運用・追跡・データ取得を行っている。平成16年は日曜を除く毎日、1～2パスの運用を行った。（1パスの時間は季節によって変わり、20分～1時間10分の間である。）

II-4-b-2

「あけぼの」衛星の運用（スウェーデン・エスレンジ局におけるデータ取得）

教授	向井利典	助手	松岡彩子	教授	前澤 洸
助教授	早川 基	助教授	齋藤義文	助教授	篠原 育
助教授	笠羽康正	助教授	阿部琢美	助手	吉川一朗
				助手	浅村和史

スウェーデン宇宙公社と協力し、オーロラに特に関連した極域におけるデータを取得する目的で、エスレンジ局でのデータ取得を行った。取得したデータはCD-ROMに保存して宇宙科学研究本部に送付し、SIRIUS（テレメデータのデータベース）に格納した。

II-4-b-3

「あけぼの」衛星の運用計画立案システムの更新

教授	向井利典	助手	松岡彩子	教授	前澤 洸
助教授	早川 基	助教授	齋藤義文	助教授	篠原 育
助教授	笠羽康正	助教授	阿部琢美	助手	吉川一朗
				助手	浅村和史

計算機の老朽化により、15年以上使用してきた運用計画立案システムが廃止され、ワークステーションベースの新しい運用計画立案システム（ISACS-PLN）への移行を行った。

c. はるかプロジェクトチーム

II-4-c-1

「はるか」によるスペースVLBI国際協同観測（VSOP）・運用

教授	平林 久	助手	村田泰宏	助手	朝木義晴
助手	P.G.Edwards		宇宙航空プロジェクト研究員		望月奈々子
国立天文台	小林秀行	国立天文台	輪島清昭	客員助教授	藤沢健太
上海天文台	沈 志強	ASIAA	澤田-佐藤聡子		VSOPグループ

「はるか」を使用したスペースVLBI観測の観測提案の審査に基づいて、各種条件を加味してVSOP全体像を明確